

日本エネルギーホールディングス 藤木慎太郎 代表取締役



近年ホール業界では、高騰した電気使用量の削減やGX (Green Transformation) の観点から太陽光発電に関心を持つ企業が増えている。業界大手法人が導入したのが、日本エネルギーホールディングスの太陽光発電システム。23年12月期の売上高を前期比3倍となる30億円まで伸ばした、業界シェアNo.1の太陽光業者だ。藤木慎太郎社長に、業界から支持される理由を聞いた。

——日本エネルギーホールディングス設立の経緯を教えてください。
藤木社長(以下、敬称略) 設立したのは2012年。エフコーポレーションという企業も経営しているのですが、そこでもともと太陽光パネル関連を商材として扱っていたので、太陽光発電システムの設計から施工、販売までを行う企業として立ち上げました。

——事業内容を教えてください。

藤木 現在の事業内容は主に2つ。メイン事業は住宅から商業施設や工場、パチンコホール様などへの自家消費型太陽光発電のご提案。太陽光発電システムの設計から施工まで対応しています。もう一つが、遊休地の土地活用のご提案として、日当たりの良い遊休地、休耕地に発電所を建設するメガソーラー事業。発電した電気を電力会社に売電する遊休地の有効な活用方法として、地主様からのご相談も多いです。また系統用蓄電池を活用した、新たな事業にも着手しているところです。

——どのような企業が太陽光発電システムを導入しているのでしょうか。

藤木 化石燃料エネルギーの高騰による電気代の高騰が、多くの企業様に危機感を持たせています。これだけ電気代が上がると、設備投資しても毎月の経費を抑えたいという企業様が多くなって当然です。太陽光発電を導入することで、電気使用量の削減による経費削減につながるだけでなく、環境問題によるGXの推進というアピールもできるなど、大手企業様

にはぴったりのシステムと言えます。

——昨年から今年にかけて、複数の大手パチンコホール法人が御社の太陽光発電システムを導入しました。

藤木 ありがたいことに、多くのホール法人様に採用していただいております。ある法人様では、国内外の太陽光業者約30社の中から当社に決めていただきました。当社は、ハイクオリティな製品が低価格で導入できるところが強み。数年で切り替える製品ではないからこそ、お客様に対して一番利益が得られる製品選定や設計を提案しています。30社の中には同じく低価格の会社もあったようですが、提案力やアフターフォローも含む、総合的な部分を評価していただきました。

——工期はどのくらいかかるのでしょうか。

藤木 パチンコホールは太陽光パネルが設置しやすい屋根が多いため、設置だけなら中規模店でも2週間ほど可能です。コンビニやスーパーなどの小さな商業施設でもそのくらいはかかりますので、工期は短くて済みます。工事はホールの営業中に行います。営業中のホールでは、一般のお客様の車や、業者さんのトラックがある中で工事をしなければなりません。クレームやトラブルを搬入して行わなければならないので、意外とその心配がうまくいかない。おそらくほかの太陽光業者では難しく、工期も2週間以上かかるでしょう。弊社は試行錯誤しながら経験を積み上げ、すでに数十軒のホール様で設置した実績がございますので、安

パチンコ業界シェアNo.1 エネホルが選ばれる理由とは

心してお任せいただければと思います。

——パチンコホールに導入するメリットは、電気使用量の削減以外にどのようなものがあるのでしょうか。

藤木 電気使用量が多いパチンコホールですが、使用する電気は開店から閉店まで安定しています。日時によって変化することが少ないため、シミュレーションが出しやすい。なので、設置したのにシミュレーションを下回るといったことがありません。むしろ、シミュレーション以上に削減されたという店舗もあります。そのためご提案がしやすく、法人様も目に見える結果として、削減できているということを実感できると思います。また駐車場に設置するソーラーカーポートもご好評いただいております。

——ソーラーカーポートも設置しやすい駐車場が多いということでしょうか。

藤木 大型商業施設同様、パチンコホールの駐車場は広く設計されているところが多いので設置に適していると言えます。弊社の製品は、一軒一軒のホールに合わせた設計のオーダーメイド製ながら、他社製品よりも低価格でのご提供が可能です。またアルミ製なので錆びにくく、長期間電気を作り続けてくれます。最近の駐車場の白線はU字型のものが多くです。当社の製品はU字型の白線のセンターに柱を設置するため、わざわざ白線を消して引き直す手間と、そこにかかる経費も抑えることができます。導入された法人様からは「ソーラーカーポートに駐車するお客様が非常に多い」というお

声をお聞きます。駐車しにくければ、そこから駐車することはないと思いますので、お客様にとって雨や雪をしのげるカーポートとしての需要もありそうですね。

——今後も業界内でシェアを伸ばしていきたいですね。

藤木 業界シェアトップというのは非常にありがたいこと。多店舗展開する法人様では1店舗目の導入で効果がなければ、そこでもう話が進まなくなりますが、すでに全国数十軒に導入していただいております。先ほどのソーラーカーポートや空調制御システムも併せて導入していることから、使用電力量の削減効果を実感していただけていると思います。今後も電気代の高騰という問題は続いていきます。だからこそ、いまから数十年使用できる太陽光パネルを設置し、電気使用量を抑えることが大幅な経費削減につながります。日本の娯楽として長い歴史を持つパチンコホールが、さらに発展するためのお手伝いができれば幸いです。



ふじきしんたろう

1979年に日本エネルギーホールディングス株の前身となる、株式会社エフコーポレーションを創業。2012年1月、日本エネルギーホールディングス株を設立した。オムロン製品の年間販売件数上位10社のランクイン実績を持ち、某企業向け太陽光発電事業においては、一法人で2万件300億の利益創出を成功させた実績をもつ。

提案力の高さと安全性で選ばれる太陽光発電 数十年使用する太陽光発電だからこそ最適な製品の導入を



業界大手が導入する日本エネルギーホールディングスの太陽光パネル(マルハン入間店)

高品質ながら低価格を実現する太陽光発電システムの設計から販売までを行う日本エネルギーホールディングス(岡山市)。マルハンやダイナムなどの業界大手が続々と導入を決めている。他業種と比較して電気使用量が多いパチンコホールが同社を選ぶ理由は、それぞれのホールに最適な提案力と安全性だ。

日 本エネルギーホールディングス(以下、エネホル)は、世界トップクラスの製品を厳選し、ハイクオリティな太陽光発電システムを設計から販売まで行うEPC会社。昨年、業界大手法人の導入が進み、業界でのシェア率を瞬く間に高めた。

近年、GX(Green Transformation)という言葉が世の中に浸透しはじめ、温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電などのクリーンエネルギーに切り替える企業が増えてきた。もちろん地球温暖化を防ぐだけでなく、自家発電による電気使用量の削減や売電など、さまざまなメリットもある。

では、国内外に数多くの太陽光業者が存在する中で、なぜ業界では同社の太陽光発電システムを導入する法人が急増したのか。それはホール法人が納得する総合的な提案力の高さにある。太陽光パネルを設置する屋根の面積は敷地や設置台数によってさまざま。そこにどれだけのパネルを設置するのかが業者によって異なり、そのパネルが1枚当たりに発電するワット数も製品によって違う。



ソーラーカーポートも導入したマルハン入間店

エネホルの藤木慎太郎社長は「弊社では、屋根面積を最大限に活かした設計で、ムダな隙間を空けることなくパネルを設置し、ホール様の電気使用量を最小限に抑えるパネル選定をしております。同様の性能を持つパネルの価格を他社よりも低価格でご提供でき、償却後に最大の効果を実感いただけました」と話す。

導入を考える際に償却までの年数を気にする企業は多いだろう。発電量が多いパネルだと費用負担も大きくなる。ただ、安価で300W、少し高価だが600W発電できるパネルを比較すると、年間の発電量は2倍の差が開く。償却後、ホールにもたらすメリットは歴然の差がつく。

藤木社長は語る。

累計数万件以上の太陽光発電データを持つオムロンは、想定した電気使用量をもとに自家発電シミュレーションデータを提供。オムロンの元でシミュレーションデータを全て算出できるのはエネホルだけ。そのデータは正確で、実際に導入したホールの削減量はデータを下回ることはない。むしろ、シミュレーションよりも削減できているというホールもあるほどだ。

エネホルの強みは、こうした提案力の高さと厳選された製品選定。ホールに最適な設計、設備を導入し、安心の国内製パワコンが長期的に活用できるようサポートする。電力の消費量が多いパチンコホールだからこそ、この先数十年間使えるエネホルの太陽光発電システムが必要だ。



太陽光パネルと併用することでさらなる電気使用量削減につながる



ソーラーカーポートはU字型の白線ならば線を引くことなく設置可能



オムロン製のパワコン

費用がかかる分、24時間野ざらしにされているパネルの寿命も心配の種。そこで同社が選定するのは、近年主流になりつつあるN型パネル。コスト面などの問題から、P型パネルを採用する太陽光業者は多い。そのP型パネルに比べ、N型パネルは劣化しにくく、低照度でも発電可能という特長を持つ。エネホルでは安心の30年保証も付いているため、長期的な稼働が見込める。

「初期費用は高いが5年で償却できる600WのN型パネル、安価だが償却に7年かかる300WのP型パネルだったら、発電量も耐久性も優れている前者の方が圧倒的にお得です。弊社では設置後のサポート体制も整えておりますので、安心して長期的にご活用いただけます」

同社ではこのほか、駐車場に設置可能なソーラーカーポートから空調制御システムまで取り扱っている。太陽光

発電システムとともに、これらを導入すればさらに効果的な電気使用量の削減につながるだろう。

**サイバー攻撃の恐れなし
パワコンは安心の国内製**

5月1日に日本の太陽光発電施設の監視機器が、中国のハッカー集団からサイバー攻撃を受けて一部がネットバンキングによる不正送金に悪用されていたというニュースが広まった。

今回は国内製の監視機器にサイバー攻撃対策の欠陥があったとみられているが、経済安全保障の観点から海外製の製品がシェアを占めている太陽光発電システムの海外サイバーからのサイバー攻撃も危険視されている。

家庭や店舗で使用可能な電気に変換するという重要な役割を果たすパワコンデシヨナ(パワコン)は、8〜9割のメーカーが海外製。エネホルが選定するのは、国内大手電機機器メーカーでパワコンの販売実績国内トップシェアを誇るオムロンだ。

「私たちは当初から国内製の製品を推奨していました。先日のニュースを見たらわかる通り、海外製の製品を導入すると有事の際に取り返しのつかないことにつながりかねません。数十年使用できるものだから、安心して活用できる国内製を選ぶのが最善です」と

ENEHOL
Design for your Future

日本エネルギーホールディングス株式会社
本社:岡山県岡山市北区下中野483-2 ENEHOLビル1F
東京営業所:東京都中央区八丁堀4丁目6-5 キスワイヤ八丁堀ビル5F
TEL.086-238-1201 HP:https://www.enehol.co.jp

▲